

高麗博物館 10年のあゆみ —— 展示パネル紹介

高麗博物館は、日本人と在日韓国・朝鮮人による市民の「歴史博物館」をめざして活動してきました。「高麗博物館を作る会」運動の11年の積み重ねを経て、2001年12月に新大久保のこの地に開館して今年で10年になります。

日本と朝鮮半島は、一衣帯水といわれる長い歴史的關係を育んできました。しかし、近現代のこの100年間において、日本による「韓国併合」という時期をへて、いまだ解決されない多くの歴史問題が残されています。真の相互理解と友好關係を築くには、歴史をみつめ知ることが大切と考えています。

このたび開館10周年を記念し、「作る会」当時から現在までの整理された、初期の展示を中心に、6カ月にわたり2012年3月まで、一部を紹介します。ただし、2012年4月から予定している企画展示「韓国併合」100年と在日韓国・朝鮮人—後編—を行うにあたって、すでに2010年に展示した前編を2012年3月に紹介します。

1回 2011.10.5 (水)～30 (日)

- ◆ 在日1世の証言
- ◆ 日本政府が謝罪するまで死なないぞ
在日一世徐元洙さんの82年

2回 2011.11.2 (水)～27 (日)

- ◆ 関東大震災80年——描かれた朝鮮人虐殺
- ◆ 関東大震災朝鮮人虐殺と新聞報道

3回 2011.11.30 (水)～12.25 (日)

- ◆ 朝鮮人戦時労働動員(強制連行)を考える



4回 2012.1.5 (木)～29 (日)

- ◆ 朝鮮通信使
- ◆ 日本・韓国・朝鮮 切手と紙幣展

5回 2012.2.1 (水)～26 (日)

- ◆ 海南島で日本はなにをしたか
戦時朝鮮人強制労働・虐殺・日本軍「慰安婦」

6回 2012.2.29 (水)～4.1 (日)

- ◆ 「韓国併合」100年と在日韓国・朝鮮人
(前編) 1945年まで

●上記以外の展示については、高麗博物館のホームページをご覧ください。

展示期間：2011年10月5日(水)
～2012年4月1日(日)
開館時間：12時～17時
休館日：月曜・火曜
入館料：一般300円、中高生150円